

日教組

弁護団コラム

～個人情報基礎②～

具体例をもとに考えよう

○教職員 個人情報の漏洩や流出について、具体例をもとに、もう少し詳しく教えてほしい。

○弁護士 では、実際に報告された最近の事例をもとに、一緒に原因や対策を考えてみる。

同僚の教職員間で、子どもの成績情報が含まれるデータを添付したメールを送ろうとしたところ、ドメイン部分を誤ったメールアドレス宛に送信してしまっただ。さて、どこに問題があるか。

○教職員 送信先のアドレスを十分に確認しなかったこと。

○弁護士 そう。個人情報を含む重要なメールを送る場合には、まずは送信前に確認のメール(空メール

など)を互いに送付する、添付ファイルを暗号化したりパスワードをつけたりする、といった作業は最低限必要となる。ただ、こういった機密性の高い個人情報をメールで送ること自体、やめておくべきである。教育委員会や学校園によっては禁止しているところも多いのではない。

○教職員 確かに、成績などをメール添付で送ること自体、問題といえる。他に、どんな事例があるか。

○弁護士 教務手帳には、子どもの名前、出欠状況や成績など、個人情報が詰まっている。この教務手帳の紛失についても、度々報告されている。

○教職員 学校の外に持

ち出さないことが鉄則ですよ。

○弁護士 それによつて、電車内で鞆ごと置き忘れる、車上荒らし犯に持ち去られる、といった事態を防ぐことができる。ただ、校内や職員室内で紛失したケースも相当数報告されている。どうすれば防げるか？

○教職員 常に手元から離さない、鍵のかかる引出しやロッカーにしまう、といったことか。ただ、管理に気をつけないといけないのは教務手帳だけではないのではないか。

○弁護士 答案用紙、子どもから受けた教育相談のノート、USBメモリなど、実際には多岐にわたる。最近、子どもの個人情報や、

特定の子どもに関する不適切な言動も記載された書類のファイルを校内に置き忘れ、それを複数の子どもが見て、後日、スマートフォンで撮影したとみられる画像がネット上に流出したという報道もあった。

○教職員 忙しいと、つい管理が甘くなりがちだが、万一分失や置き忘れをしたら大変な事態になることを意識したい。

ところで、GIGAスクール構想がすすめられ、集団(学校・学年・クラス・委員会など)を1つのチーム(グループ)として管理して、ファイルや情報を発信したり共有したりすることが増えたが、使い方がよく理解できていない。

○弁護士 学校現場で

も、コミュニケーションプラットフォームなどの共有システムが広く利用されている。その一方で、子どもの個人情報、そのチーム(グループ)以外の人にも閲覧できてしまう、といった事故が相次いでいる。チーム(グループ)を作成する際は、公開範囲を「プライベート」にする必要があるが、プライバシー設定を誤って「パブリック」にしてしまったという、ケースもある。

○教職員 再度使い方を理解・見直ししておく。

※基礎のキソについては前回号を参照



人事委員長へ「県人事委員会勧告にむけた申し入れ」を実施

「だれもがいきいきと働き、ともに輝くことができる」職場環境づくりを！

兵教組は7月8日、県職労とともに、2025年人事委員会勧告にむけた申し入れをおこなった。

冒頭、土取県職労中央執行委員長より申し入れ書を手交し、井上県職労中央執行委員長が申し入れ書にしたがつて趣旨説明をおこなった。

引き続き、谷書記長から、教育現場の実態をふまえて「教職員未配置問題の解消・長時間労働の是正・休暇・休業制度の拡充」と「改正給特法および総務省通知をふまえた処遇改善」、「経験

ゆたかな人材の採用」、「再任用職員の生活水準の確保」の4点を要求した。

大久保人事委員長は、「人事委員会の勧告・報告の基礎資料となる職種別民間給与実態調査については、4月23日から6月13日までの日程で、公務を除く全産業の事業所を対象に抽出調査をおこなった。一部の調査項目については引き続き調査をおこなっているが、現在、人事院において、各人事委員会が提出した調査データの取りまとめがおこなわれている。今後、本委

員会においても、他の機関が調査したデータの提供を受けた後に、調査結果の分析等をおこなっていく」と回答した。

森戸中央執行委員長は「公平・公正・精確な公民比較をはじめ、県職員のモチベーションの維持・向上につながる勧告・報告となるようともめる」と要請し、交渉を締めくくった。

※詳細は
闘争速報No.1を参照



兵教組LINE公式アカウント

速報等、最新情報をお届けします！



障害児教育部

委員会・学習会



【障害児の教育権・学習権を保障するとりくみ】
障害児の教育権・学習権

谷口吉一さんは、「インクルーシブ教育とは、障害のある子どもを特別な場にわけることではなく、すべての子どもがいろいろな子どもと一緒に学び合う学校園をつくることである。」

子どもの困難・障害は、本人にあるのではなく、その人のまわりにある」と語った。



谷口吉一さん

を保障し、「共生・共学」の実現をめざす教育課程の編成等、すべての学校園で障害を「社会モデル・人権モデル」として捉え、インクルーシブ教育の理念をふまえたとりくみを推進する。



グループ討議の様子

6月28日、ラッセホールで障害児教育部委員会・学習会がおこなわれ、約30人が参加した。

委員会では、25年度の役員選出と25・26年度の運動方針および当面のとりくみについて提起され、可決決定された。

学習会では、障害児教育部長の谷口吉一さんより、「『ともに生きともに学ぶ』この意味を問い直すインクルーシブ教育の理念と現実のあいだで」と題した問題提起があった。その後、グループ討議をおこない、学びを深めた。

ようこそ！！兵教組へ！ 事務職員部 新組合員学習会



学習会の様子



参加者交流の様子

6月27日、ラッセホールで事務職員部新組合員学習会が開催され、新組合員、青年層リーダーなど約20人が参加した。

学習会の冒頭、谷書記長、中井事務職員部長のあいさつがあり、続いて「新組合員のためのよくわかる兵教組」と題して、竹島事務職員部副部長より提起があった。竹島副部長は、事務職員部の歴史についてふれながら、これまでの運動のとりくみや成果、課題について説明し、事務職員部の学校での役割や重要性についても伝えた。

その後、参加者交流をおこない、日頃の学校現場におけるとりくみや、思い・悩みを出し合い共有した。事務職員どうしのつながりを深める機会となった。

参加者アンケートより

・研修制度や労働環境の確立について、先輩方の働きがあったからこそ今こうして楽しく働けるというところを知ることができた。

・先輩方からの確かなアドバイスを頂けて、とても勉強になった。学校に帰ってから実践したいことがたくさんあった。

・兵教組や専門部がどのようになっているのかを知ることができ、とても勉強になった。今後とも横のつながりを広げることができ、いろいろな組合活動に参加していきたい。



兵教組だからできることがある！

労働組合しか教育や、勤務・労働条件の交渉はできません！



県教委や各教育事務所、地教委に対して交渉できるのは、労働組合だけです。子どもの教育や教職員の職場環境について、どんなに熱い思いをもっていたとしても、一人で交渉することはできません。執行部は、すべての組合員の思いを代弁して交渉をおこないます。皆さんの思いを届けるためにも、組合に加入し、ともにがんばりましょう！



「水ぞくかんマリンワールド」
丹波市立吉見小学校 1年 大槻 ネオ

『子どもの詩と絵 第45集』より



しょう来の自分
ゆめは消防官
レスキュー隊
世界中を見ると
自分と同じゆめを
持っている人がいる
しかし、自由に
自分のゆめを
語れない人もいる
だれもが自分のゆめを
語れるようになればいい



しょう来の自分

豊岡市立合橋小学校
土肥 槍馬 3年

8/12 開催 工藤勇一さん特別講演

テーマ 「今、学校でやるべき生徒指導のあり方について
～関係機関との連携・保護者対応～」



参加申込は
二次元コードより

8月12日、ラッセホールにて兵教組中学校活性化委員会が企画する特別講演を開催する。講師には自治体や学校等の教育アドバイザーとして活躍中の工藤勇一さんを招き「今、学校でやるべき生徒指導のあり方について～関係機関との連携・保護者対応～」と題した講演をおこなう。



工藤勇一さんは、公立学校教員（山形県、東京都）、東京都教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長を経て、千代田区立麹町中学校校長（14年4月～20年3月）、学校法人堀井学園横浜創英中学・高等学校校長（20年4月～24年3月）等を務め、現在、芦屋市等の教育アドバイザーとして活躍されている。

参加費無料



8/18・19 開催 カムバックセミナー

教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所主催



2024年度カムバックセミナーの様子

育休中組合員の
職場復帰をサポート！

申込・問い合わせは
各所属地域組合にて



8月18・19日、教職員共済生活協同組合兵庫県事業所が主催するカムバックセミナーがオンラインでおこなわれる。

兵庫県では、教職員の世代交代がすすみ、青年層組合員の割合が増え、育休中の組合員も増加している。

兵教組は、現場復帰を前にさまざまな不安を少しでも解消し、復帰後もサポートしていくため、カムバックセミナーに賛同し、その中で育児にかかわる休暇制度や、生活設計のアドバイス等をおこなっている。

育休復帰後間もない方も参加対象としているので、復帰した今だからこそ知りたい情報や育休中の方へのアドバイスなど、本セミナーに参加することで共有していただきたい。

また、今年からまもなく産育休に入る予定の教職員も参加対象としている。産

育休中の生活や復帰後の働き方などについてじっくり考え、イメージする機会としていただきたい。

講座Ⅰでは、「笑顔でいきいきと働き続けるために～育児と仕事の両立支援制度～」と題して、兵教組より育児と仕事の両立を支援する休暇制度等や、経験者からのアドバイスについて説明をおこなう。

講座Ⅱでは、「子育て世代の貯蓄と保障～子どもの成長と教職員共済による備え～」と題して、教職員共済より子育てに関わる貯蓄と保障について、実際にかかる費用等を例示して説明・提案がおこなわれる。

講座の後、地区や地域組合ごとにわかれてグループ交流をおこない、学校現場の最新情報や育児の悩み、職場復帰にむけた思いを意見交換する。

<https://www.kyousyokuin>

「補償は見直しが必要ですが
大切です」

ご自宅の補償を
見直しませんか？

こんな方は
特に見直しをオススメします！

今、加入している保険（共済）について

01 保険料（掛金）が値上がりした

02 住宅ローンが完済となり
満期がくる

03 加入したときのまま
ほったらかしにしている

この機会に「教職員共済」へ
ご相談ください！

火災共済
自然災害共済

住宅災害等給付金付火災共済

お問い合わせも
お気軽にどうぞ！

詳しくは
こちら！



資料請求・お問い合わせ

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール 4F
TEL:078-221-9730【平日9:00～17:30】

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください、制度内容をご確認ください。